

高遠町図書館沿革

文政13年(1830)			高遠文庫 中村元恒(高遠藩儒官)及び井岡良古(鉾持神社神官) 鉾持文庫を設立 足利学校に倣い史書・経典・小説などを蒐集し学者の用に供する 後「高遠文庫」と改称
万延元年(1860)			進徳館文庫 藩主頼直進徳館を開き、館内に進徳館文庫を設ける 高遠文庫よりの寄贈本を含め7000余冊を蔵す
明治41年(1908)			高遠図書館 青年有志、小学校教員の協力を得て設立 会員制で運営 大正3年 業績顕著により県知事表彰を受ける
大正5年(1916)			高遠進徳図書館及び美術館 伊澤修二が中心となり、町内及び高遠出身者の寄付を募り、2階建て 述べ25坪の館を建立 小学校教員が中心となり運営される
大正9年(1920)			高遠進徳図書館 高遠図書館と高遠進徳図書館及び美術館が合併し、 町立高遠町図書館となる 運営を小学校長に委任する
昭和61年度	10月	26日	高遠町文化センター及び 高遠町図書館 竣工
	12月	2日	開館 貸し出し開始 (5冊)
	2月	13日	町内小学生図書館見学始まる
	3月	28日	「こどもひろば」開始
昭和62年度	6月	5日	町内保育園・小学生へ配本
	10月	15日	「伊澤修二 その生涯と業績」編纂発行 「高遠十景」復刻発行
	10月	29日	伊澤修二特別展開催
	12月	5日	開館1周年、開基150年記念フェア ～12日
	月	日	大和岩雄氏よりの寄贈図書始まる
昭和63年度	7月	9日	長藤・三義分館 開設
	3月	31日	三義分館 閉館
平成元年度	5月	30日	ビデオ貸出し開始
	7月	16日	片倉分館 開設
	9月	30日	貸出点数10万点達成 マスコット「ブックン」を定める
	12月	日	持てるだけサービス開始(図書)
平成2年度	7月	3日	コンピューター導入を決定(NEC3100A)
	3月	3日	コンピューター本稼動 図書カード導入
平成3年度	5月	24日	上山田分館 開設
	11月	24日	貸出点数20万点達成
平成4年度	3月	22日	古文書館 竣工
平成5年度	7月	20日	光ファイル導入
	8月	5日	岩崎文庫寄贈(古文書)搬入
	12月	日	好きなだけサービス 以後図書の制限なし
平成6年度	6月	26日	山下文庫寄贈(古文書)
平成7年度	5月	9日	小学校母親文庫貸出始まる
	5月	27日	こどもひろば100回記念
	7月	11日	開館時間延長(8時まで 日曜日除く)
	12月	5日	高遠小学校分館 開設(一般へも開放)
平成8年度	7月	9日	高遠中学校分館 開設
	8月	17日	貸出点数50万点達成

	8月	29日	国立信州高遠青少年自然の家へ配本開始
	11月	3日	開館10周年記念フェスティバル
平成10年度	4月	25日	利用者蔵書検索用タッチパネル設置
	7月	17日	貸出点数60万点達成
	8月	21日	高遠北小学校出前おはなしひろば開始
平成11年度	4月	7日	上山田分館 閉館
	5月	8日	おはなし会開始(職員による)
	7月	7日	池上家資料(古文書)寄贈搬入
平成12年度	8月	31日	ふれあいネットワークLAN開設
平成13年度	11月	28日	高遠進徳図書館資料 小学校より移管
	12月	2日	貸出点数80万点達成
	1月	24日	インターネットの利用者サービス開始
	2月	19日	信大教育学部へ再度陳情 進徳館蔵書本移管について
平成14年度	5月	25日	進徳館蔵書本 信大教育学部より移管
平成15年度	9月	11日	進徳館蔵書本整理 目録作成開始
	12月	14日	西高遠交流センターを図書館東側に増設(児童室・古書資料室)
平成16年度	5月	20日	「進徳館蔵書本目録」発行
	1月	6日	貸出点数100万点達成
平成17年度	3月	31日	伊那市・長谷村と合併により「伊那市立高遠町図書館」と改称
平成18年度	4月	1日	ブックスタート開始(乳児)
	12月	2日	開館20周年記念フェスティバル
平成19年度	9月	27日	図書館システム更新(伊那図書館とのデータベースの一元化)
平成20年度	7月	19日	高遠中学校分館閉館
	7月	19日	高遠小学校分館縮小(児童書のみ、一般書は引き上げ)
	11月	19日	貸出点数1,234,567点達成
	12月	15日	紛失本対策 ミラー設置(3基)
	2月	1日	住民基本台帳カード 図書館利用開始
平成21年度	6月	4日	古文書デジタル化 開始 (緊急雇用創出事業)～11月
	6月	11日	高遠第2・3保育園出前おはなし会開始
	8月	29日	第1回高遠ブックフェスティバル 協賛 ～30日
	10月	22日	「明治文化の至宝 伊澤修二」改訂版発行
平成22年度	7月	15日	古文書デジタル化 再開(緊急雇用創出事業)～23年へ継続
	9月	18日	第2回高遠ブックフェスティバル協賛 ～23日 進徳館塾開校(幕末浪漫)
	11月	3日	伊那市功労者表彰 大和書房の大和 岩雄氏 寄付功労 S62年以来 寄贈本 3,700冊余
	11月	7日	「古地図ぶらり 一高遠」プロジェクト立ち上げ
	12月	4日	「高遠ぶらり」街中探索ワークショップ(東高遠編)
平成23年度	4月	1日	古文書デジタル化 (緊急雇用創出事業)～24年へ継続
		8日	高遠ぶらり 無料使用開始
	5月	28日	「高遠ぶらり」街中探索ワークショップ(城下町西高遠編)
	7月	21日	中村家資料調査作業開始 約1,832点
	9月	10日	「週末本の町」『街角書棚』設置
		24日	こどもひろば300回(記念事業は10/16に開催)
	10月	15日	～16日 図書館まつり(まちづくりイベントに合わせて開催)
	11月	24日	「不折を知って高遠を歩こう」マップ完成(高遠高校芸術コース書道専攻生徒との連携製作)
	2月	1日	利用者用パソコン設置
		16日	社会福祉協議会職員を通じて利用困難な方へ図書配達開始
平成24年度	7月	13日	「高遠ぶらり」街中探索ワークショップ(相生多町編)
	10月	1日	インターネットサービス開始(予約本)
		13日	～14日 図書館まつり(まちづくりイベントに合わせて開催)・リサイクル市へ県立図書館より500冊協力
	12月	5日	「お散歩気分で学ぶ町」不折マップ第2弾完成
	3月	18日	「進徳図書借用更新契約」を結ぶ(借用期間25.4/1～26.3/31)毎年更新とする 4,472冊

平成25年度	5月	27日	長谷川正次氏より古文書・図書他寄贈	
	8月	10日	～2月 島村利正読書会開催 4回	
	9月	21日	～23日 図書館まつり・ブックフェスティバル 古本リサイクル市、ビブリオバトル、島村利正展 他	
	10月	29日	Library of the year 2013 大賞受賞(よい図書館を「よい」という) 「高遠ぶらり」等を通して、新しい公共空間としての地域図書館の可能性を拓いている点が評価された	
	12月	4日	島村利正資料寄託 来年度より資料調査整理をおこなう	
	1月		高遠小学校より古文書・教科書他資料移管	
	3月		古文書デジタル化作業今年度にて一時お休み	
	3月		図書館利用困難者への図書配達終了(施設への入替回数増加)	
	平成26年度	4月		島村利正資料整理 国文学研究者(2名、年24回)の指示をいただきながら資料調査整理をおこなう
		8月		～3月 島村利正読書会開催 4回
8月		1日	国立国会図書館デジタル資料閲覧開始	
9月		20日	～23日 図書館まつり・ブックフェスティバル 古本リサイクル市、ビブリオバトル、お茶会 他	
1月		17日	元気づくり優良大賞受賞(高遠ぶらり)	
			図書館視察全国各地から来館(Library of the year 2013 大賞受賞を受けて)	
			古文書、古書の寄贈が増加	
平成27年度	4月		島村利正資料整理 2年目(年 14回)	
	9月	3日	図書館システム更新(7市町村の共同利用開始)	
	9月	19日	～23日 図書館まつり・ブックフェスティバル 古本リサイクル市、絵本セラピスト講演会、絵本ライブ 他	
平成28年度			高遠高等学校への授業支援本格化	
	4月		島村利正資料整理 3年目(年 12回)	
	7月	26日	～8月21日 開館30周年記念「夏休みこども向けイベント」実施 ハーモニカ演奏会、虫の観察会、こども映画会、星を観る会、サマースタンプラリー 他	
	9月	17日	～19日 ブックフェスティバル開催 町づくりネットワークとの協働	
	11月	19日	島村利正講演会開催	
	12月	3日	～4日 としょかんまつり開催 こびとをさがせ、こどもひろばスペシャル 他	
	2月	25日	アクティビティ部門銀賞受賞 アーバンデータチャレンジ2016実行委員会 作品名「wikipedia TOWN in school」 高遠高校情報ビジネスコースへの授業支援が評価された	
平成29年度	4月		島村利正資料整理 4年目(年 11回)	
	4月		信濃毎日新聞データベース利用開始	
	9月	3日	貸出点数170万点達成	
	9月	17日	～19日 ブックフェスティバル開催 町づくりネットワークとの協働	
	9月	17日	～19日 としょかんまつり開催 高校生による読み聞かせ、石ころに絵をかこう 他	
	2月	25日	UDC2017地域拠点賞受賞(長野ブロック) アーバンデータチャレンジ2017実行委員会	
平成30年度	4月		ボランティアによる古文書資料整理 1年目(月1回)	
	4月		古文書資料目録改訂版作成(25冊)	
	5月	29日	「進徳の森と中村弥六関連資料群」が日本森林学会の林業遺産として登録決定	
	9月	15日	～17日 ブックフェスティバル開催 町づくりネットワークとの協働	
	9月	15日	～17日 としょかんまつり開催 高校生による読み聞かせ、バスボム作り 他	
	11月	1日	高遠文芸賞実行委員会主催「高遠文芸賞」に協力(平成31年3月応募締切)	
	3月	28日	文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センターホームページの平成30年度 社会教育情報番組『社研の窓』に高遠町図書館の取組みがアップロードされる	
令和元年度(平成31年度)	3月	29日	図書館企画紙芝居1作品目「龍勝寺山の姫小松」完成	
	5月		「龍勝寺山の姫小松」資料登録	
	9月	14日	～16日 ブックフェスティバル開催 町づくりネットワークとの協働(高遠文芸賞表彰)	

	9月	14日	～16日 としょかんまつり開催 高校生による読み聞かせ(「龍勝寺山の姫小松」の初演)他
	11月	30日	貸出点数180万点達成
	3月	3日	閲覧室の利用制限とサービスの一部停止(3月5日まで)新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	3月	6日	予約本のみ貸出に利用を制限(4月5日まで)新型コロナウイルス感染拡大防止のため
	3月		島村利正資料目録改訂版完成
	3月	27日	高遠小学校(町図書)の終了
	3月	31日	高遠北小学校3年生から6年生のクラスへの貸出は終了
	3月	31日	感謝状『伊那の谷 風の学校ボランティアワークキャンプ』の支援に対して 昭和女子大学 コミュニティーラーニングセンター センター長 興梶 寛
令和2年度	4月	8日	臨時休館(4月30日まで)伊那保健所管内にて新型コロナウイルス感染者が確認されたため
	4月	22日	紙芝居「龍勝山の姫小松」がYouTubeにて公開される
	5月	1日	臨時休館延長(5月11日まで)県内の新型コロナウイルス感染者が落ち着かないため
	5月	12日	予約本のみ貸出再開 県内の新型コロナウイルス感染者が落ち着いてきたため
	5月	19日	制限付きで図書館の利用を再開(利用制限時間30分以内)
	6月	27日	利用制限時間を30分から1時間以内に緩和(椅子の数を半数に)
	8月	1日	感染防止策を取りながら図書館イベントを再開
	9月	27日	利用制限時間1時間以内を取り除く(椅子の数は半数に)
	11月	10日	文部科学省国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催の「社会教育主事専門 講座」にて「社会教育施設を活用した新たな人のつながりづくり」と題して実践発表
	2月	21日	図書館企画紙芝居2作品目「お膳岩」が完成し一般貸出を開始
令和3年度	4月	6日	没後40年特別企画「島村利正展」開催 令和R年1月27日まで.
	4月	21日	ボランティアによる古文書デジタル化を開始
	8月	19日	図書館システム入替のため臨時休館(LMO sky)株式会社システムインナカゴミ～8月31日まで
	9月	1日	新図書館システムの運用開始(5年契約)
	9月	1日	臨時休館(予約本のみ貸出) 新型コロナウイルス感染拡大のため ～9月13日まで
	11月	7日	島村文学散歩～「城址のある町」の舞台を訪ねて～を開催 講師:六川宗弘(長野吉田高校教諭)
	11月	3日	伊那市功労者表彰 大和書房の大和 岩雄氏 寄付功労 S62年以来 寄贈本 5,900冊余
	1月	26日	臨時休館(予約本のみ貸出) 新型コロナウイルス感染拡大のため ～3月7日まで
令和4年度	8月	6日	高遠町図書館資料叢書70号「内藤家十五世紀(七)～(九)」完成
	8月	6日	貸出点数190万点達成
	10月	1日	図書館企画紙芝居「よきとぎ橋」完成・資料登録
	10月	1日	古文書保存活用推進事業開始
	1月	29日	古文書保存活用推進事業シンポジウム(伊那市役所多目的ホール) 「読んで知って未来に活かす～デジタル化時代における文化資源の活用～」
	2月	18日	戦国エコバックづくり 2/4(会場:伊那公民館)2/18(会場:高遠町図書館)
	3月	1日	椅子の数を新型コロナ感染症拡大前と同数に配置
令和5年度	4月	1日	古文書デジタル化月18日勤務2人体制と地域おこし協力隊の採用により事業開始
	8月	12日	磯田道史氏講演会「日本史と地域史～古文書活用の未来～」開催(やますそに於いて)
	10月	10日	江戸めし給食(江戸時代の食事体験)高遠地区の小中学校で実施
	11月	25日	～26日 としょかんまつり開催 ミニミニクリスマスツリー作り・除籍本頒布会他
	3月	30日	ロビー展 生誕150年記念「池上秀畝展」開始